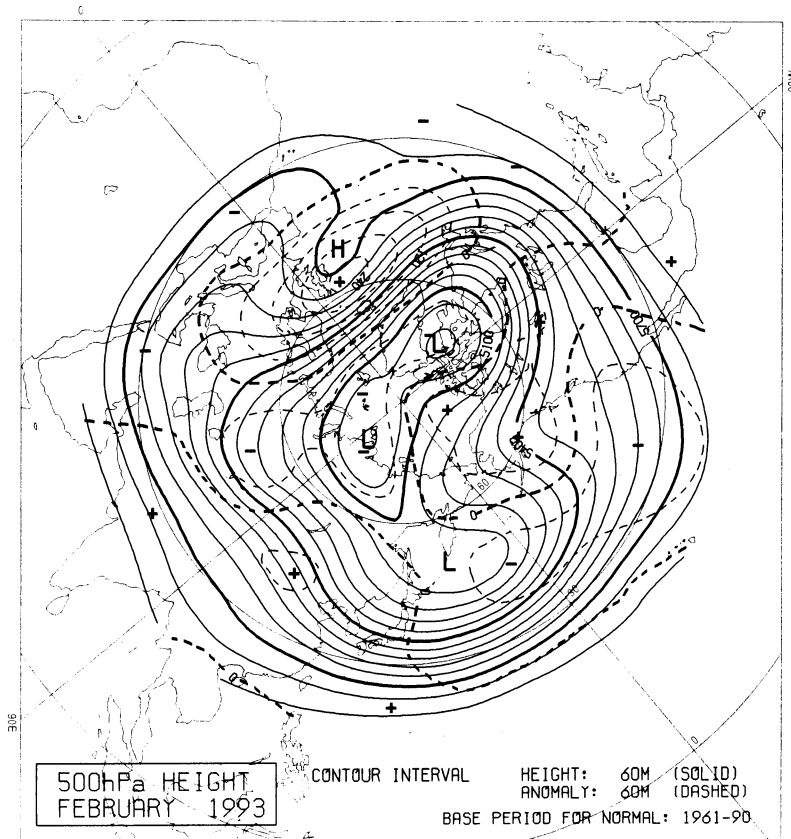


1993年2月の大気大循環と世界の天候 月平均 500 hPa 天気図.



(破線は平年からの偏差。単位m)

表 1 1993年2月の気候表

地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級	地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級
パリ	3.2	-0.8	-0.3	16	35	—	カサブランカ	13.5	0.3	0.3	6	8	1
ベルリン	—	—	—	—	—	—	ニオロドサヘル	26.2	0.6	0.4	0	0	—
ローマ	—	—	—	—	—	—	プレトリア	22.8	1.5	1.9	71	83	3
イスタンブール	3.4	-2.7	-1.3	57	76	2	バンクーバー	3.5	-1.1	-0.8	11	10	0
モスクワ	-4.9	3.5	0.9	51	136	—	ニューオリンズ	12.6	-0.2	-0.1	59	43	1
オデッサ	-0.4	0.9	0.3	33	78	3	セントルイス	-0.2	-0.8	-0.2	70	128	4
ニューデリー	18.9	1.7	1.3	9	61	3	サンフランシスコ	11.4	0.5	0.4	119	140	4
カルカッタ	24.3	0.9	0.8	1	4	1	ニューヨーク	-0.9	-1.6	-0.7	83	115	4
ボンベイ	26.1	1.1	1.2	0	0	4	マナウス	—	—	—	—	—	—
ホンコン	17.8	1.9	0.6	1	2	0	サンパウロ	—	—	—	—	—	—
チャンチュン	-8.5	4.2	1.6	7	152	5	ロサリオ	22.2	-0.7	-0.6	30	29	1
ベキン	1.6	3.6	2.0	2	27	2	ホノルル	21.7	-0.8	-1.1	10	14	1
シャンハイ	6.7	—	—	60	—	4	タヒチ	27.2	0.5	1.0	309	137	4
バンコク	27.4	-0.3	-0.4	0	0	—	ダーウィン	27.9	0.1	0.1	271	78	2
マニラ	26.0	0.0	0.0	0	0	0	キャンベラ	18.9	-0.9	-0.9	32	60	3

2月の世界の天候

2月の月平均北半球500hPa高度天気図の特徴として、北大西洋に中心を持つ顕著な正偏差域と、北太平洋に幅広く広がる負偏差域が挙げられる。また、ウラル山脈付近からアフリカ北東部にかけてと、グリーンランドからアメリカ合衆国北東部にかけて、及びカムチャッカ半島付近に気圧の谷が存在した。

①東アジア・シベリアの高温

ロシア、中国、日本など東アジア・シベリアのほぼ全域で気温が高く、特に中央シベリアでは、月平均気温が平年より10°C以上高いところがあった。

②インドシナ半島の少雨

中国南東部からインドシナ半島にかけて少雨となった。一方、インドネシアのジャワ島では月の初めに大雨による洪水被害が発生した。

③パキスタン・インド北西部の高温

ペシャワールで月平均気温16.1°C（平年差+2.8°C）など、パキスタンからインド北西部にかけて高温だった。

④ヨーロッパ西部・南部の少雨

ヨーロッパ北部では、偏差は小さくなったが昨年12

月からの高温が2月も続いた。一方、地中海沿岸地方やヨーロッパ東部では、平年より気温が低かった。降水量は西部から南部にかけて少なく、フランスでは多くの地点で、月降水量が平年の30%以下だった。

⑤アメリカ合衆国南西部の多雨

ラスベガスで月降水量64mm（平年の5.5倍）などアメリカ合衆国南西部で著しい多雨となった。カリフォルニア州では昨年秋から多雨傾向が続き、6年続いた干ばつに終止符が打たれた。

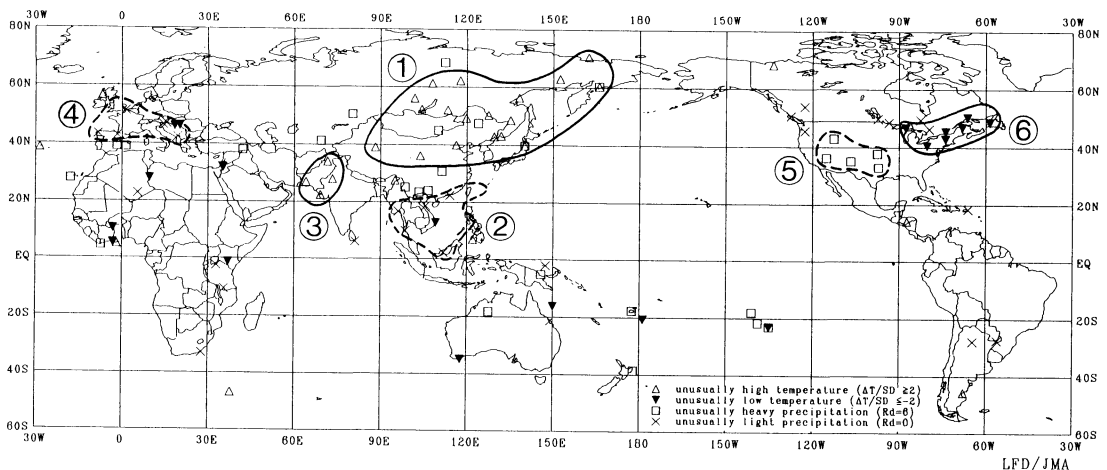
⑥アメリカ合衆国北東部の低温

12、1月と高温だったアメリカ合衆国北東部は、2月は一転して低温となった。

⑦その他

昨年は深刻な干ばつとなったアフリカ南部では、2月の降水量がほぼ平年並となり、干ばつ状態がやや緩和された模様。一方、多雨傾向の続いていたアルゼンチン北部は、一転して少雨傾向となった。また、オーストラリア南部は月の初めに熱波の被害が報じられたが、月平均気温はほぼ全国的に平年並だった。

（気象庁長期予報課 石原 洋）



1993年2月の世界の異常天候分布図

△：高温 ▼：低温

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

□：多雨 ×：少雨

1993年2月の気候表の説明。平均値は、1951～1980年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。500 hPa 高度場の平均値は1961～1990年の30年平均値。